

# 荒れた路面を経済的にリフレッシュする 補修工法「スマートコート」

前田道路株式会社  
担当部署等

URL <http://www.maedaroad.co.jp/products/smc/smc.htm>

☎ 03-5487-0030

✉ [tech@maedaroad.co.jp](mailto:tech@maedaroad.co.jp)

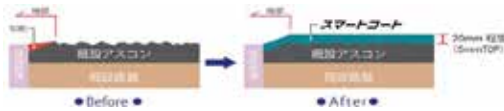
## 概要

自治体が管理する道路は大別すると幹線道路と生活道路があります。幹線道路の舗装は新設または補修後、一定の年数を経過すると機能的な破損を経て最終的には構造的な破損に至ります。機能的な破損の段階で、予防保全対策として切削オーバーレイで補修することも可能ですが、これでは必要以上にコストがかかります。一方、生活道路の舗装は交通量が少ないため、施工後 20～30 年経過しても破損していない事例も多々ありますが、舗装の老朽化によって路面の荒れや軽微なひび割れが発生しているケースが多く、市民サービス向上の観点からも補修が必要不可欠です。

そこで、これらの課題を解決するために開発されたのが、舗装の予防的維持工法「スマートコート」です。

スマートコートは、骨材の最大粒径が 5mm の薄層舗装専用の加熱アスファルト混合物を厚さ 20mm 程度で表面処理する予防的維持工法です。

表面が荒れている舗装や軽微なひび割れが発生している舗装の上に薄層で施工して、路面を新設時のようにリフレッシュします。



■ 「スマートコート」の施工断面



老朽化による荒れ▲

■ 生活道路における舗装路面の荒れ

## 「スマートコート」の特長

- 優れた経済性  
薄層のため、材料使用量が少なく経済的です。
- 工期短縮  
全面的な切削を必要としないため、工期が短縮され、沿道環境への負荷の軽減が図れます。
- 優れた施工性  
薄層舗装に適した施工性を有しており、通常のアスファルト舗装と同様の機械編成で施工が可能です。
- 交通量に応じた使い分け  
一般路線用、重交通路線用の 2 タイプあり、交通量区分によって使い分けが可能です。



■ 路面のリフレッシュ（生活道路）



■ パッチング、ひび割れの補修（幹線道路）